

一般質問(要旨)

●質問者

3月6日(火)

萩原 勇

(いばらき自民党)

八島 功男

(公明党)

鈴木 将

(いばらき自民党)

3月7日(水)

志賀 秀之

(いばらき自民党)

江尻 加那

(日本共産党)

本澤 徹

(無所属)

3月8日(木)

高橋 勝則

(いばらき自民党)

二川 英俊

(県民フォーラム)

水柿 一俊

(いばらき自民党)

3月9日(金)

星田 弘司

(いばらき自民党)

川口 政弥

(自民県政クラブ)

館 静馬

(いばらき自民党)



萩原 勇 議員
いばらき自民党
龍ヶ崎市選出
一括方式

新観光創生

議員 政策ビジョンに新観光創生が掲げられ、県の魅力度アップにもつながると期待する。茨城のダイナミックな魅力の発信などにより、海外からの観光誘客に努めるべきと考えるが、どう取り組むのか。
知事 誘客プロモーションを戦略的に展開するほか、留学生に隠れた観光資源に触れた感動体験をSNSで発信してもらうなど観光資源を創出する。また、海外富裕層の獲得に向け、フラッグシップとなるホテルなどの誘致に取り組む。

本県独自のプログラミング教育

議員 次世代を担う「人財」育成のため、専門家を活用するなどの本県独自の取り組みにより、プログラミング教育を強化すべきと考えるが、今後どう取り組むのか。
教育長 民間企業と連携した教材開発などにより、学校の授業を充実させる。また、専門家やインターネットを活用した学習サービスの提供など、中高生が継続的・発展的に学べるようしていく。

(ほかに、東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致、牛久沼の水質浄化なども質問)



本県独自の取り組みで、プログラミング教育の強化を



八島 功男 議員
公明党
土浦市選出
一括方式

レンコンの消費拡大への取り組み

議員 レンコンの消費拡大に向け、レンコン料理の開発と紹介、地産地消の強化、レンコンサミットの開催などを提案するが、所見は。
農林水産部長 一流料理人によるレンコン料理のレシピ開発を進め、ウェブサイトで紹介していく。また、県内飲食店でのレンコン料理フェアや集客力のあるイベントでのPRなどを通じて、地産地消の取り組みを進めるほか、レンコンサミットの開催についても主産県や産地と検討を進めていく。

成年後見制度利用促進基本計画の策定

議員 市町村が策定することとされている成年後見制度利用促進基本計画について、県がひな型を作成するなど、同計画を積極的に推進すべきと考えるが、所見は。
保健福祉部長 市町村では、成年後見制度の重要性を認識しつつも、基本計画の策定に至っていないのが実情である。今後、県で基本計画のひな型を作成するなど、市町村に寄り添った支援に努めていく。

(ほかに、SDGsの理念と県総合計画の策定、国道三五号土浦バイパスの早期四車線化なども質問)



レンコン料理の一つ「カラフルレンコンマリネ」



志賀 秀之 議員
いばらき自民党
北茨城市選出
一括方式

茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂

議員 地方創生の推進に当たり根幹となる総合戦略について、どのような考えの下で改訂するのか。
知事 計画期間内に、スピード感をもって地方創生に取り組むとともに、人口減少対策の正念場と考える今後十年間に、本県の将来の姿を見据え、果敢に挑戦していく。このため、「新しい茨城づくり」の四つの挑戦を基本目標とし、新たな数値目標や高い目標値に加え、二〇二六年度に向け、よりチャレンジングな目標値を設定していく。

イノシシの被害防止対策の強化

議員 県内でイノシシによる人身への危害が発生した。被害防止対策にどのように取り組むのか。
生活環境部長 イノシシに出会った際には、落ちていてゆつくり行動することや、攻撃をしないことなど、イノシシの生態や対処方法などを広く周知していく。また、県猟友会や市町村と連携し、狩猟者の技術向上などを図っていく。

(ほかに、日本の芝産地の持続的な発展を支える取り組み、都市計画道路路上野花室線の整備、県道赤浜谷田部の線の整備なども質問)



「ふくまる」の効果的なPRを

国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会を開催しました

平成三十一年に本県で開催予定である国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の推進、および、これらを活用した地域づくりなどに関する諸方策について調査・検討を行うために設置された「国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会」(海野透委員長)は、平成二十八年六月に第一回委員会を開催して以降、これまでに十五回の委員会を開催し、活発な議論を行ってきました。

昨年十二月に開催された第十四回委員会では、競技施設の整備状況や第十七回全国障害者スポーツ大会の結果のほか、式典実施計画の策定や企業協賛の実績、大会運営および情報支援ボランティアの募集状況など、両大会の開催に向けた取り組みなどについて関係部局からの説明聴取および審査を行いました。
また、三月に開催された第十五回委員会では、競技施設の整備状況について審査を行うとともに、昨年十月に委員会で取りまとめた、中間報告における「国体・障害者スポーツ大会の成功等に向けた施策の基本方向」に対する対応状況などについて、関係部局からの説明聴取を行うとともに、審査を行ったところです。
委員会では今後、競技施設の整備状況などを確認するため現地調査を行うとともに、各競技団体から参考人を招き、競技力の向上に向けた取り組みについて意見聴取などを行う予定であり、両大会の成功に向けた諸方策について、引き続き審査を進めてまいります。

児童相談所と連携した虐待事案への対応

議員 今年一月から、児童相談所で扱う全ての虐待事案を県警に情報提供する取り組みが開始されたが、その後、情報共有の状況は。
警察本部長 児童の生命・身体に重大な危害が及ぶおそれのある情報はただちに、それ以外の全件情報についても翌月には提供され、以前より連携が図られている。今後とも、児童相談所とより一層の連携、情報共有を図っていく。

(ほかに、免許外教科担任制度の運用、いわゆる「あおり運転」等への対応なども質問)



茨城県まち・ひと・しごと創生会議の様子

ことば ※【ふくまる】…茨城県が育成した早生品種で、大粒、良食味で、コシヒカリより多収である水稲品種。
※【技術実証ほ】…農作物の栽培技術などを実証し、展示することにより、現地への新しい技術の普及を図るほ場のこと。農作物を栽培する田畑をほ場(圃場)と呼ぶ。